



さくらぐみだより

尚徳福祉会 日野保育園 2025年2月



まだまだ寒い日が続きますが、さくら組の部屋は子どもたちの元気な笑い声があふれ、まるで一足先に春がきたようです。さくら組の部屋で過ごすのもあと少し。一日一日を大切に、みんなで楽しく過ごしていきたいと思ひます。



☆ 子どもたちの様子 ☆

ある日のこと・・・

「からあげ屋さんで～す!」「いかかですか?」と呼び込みが始まりました。「からあげ、ください!」と注文すると、「タレをかけますね!」(どほどほどほ・・・)他の店員さんが、「かけすぎだよ、辛くなっちゃうよ。」と言うと、「じゃあ、お肉も入れますね!」と大盛りのから揚げを作ってくれました。

また、別の日には・・・

「寒いから、外行きたくないな。」というささやきが聞こえてきたかと思ったら、「そうだ!いいこと、考えた!!」「穴を掘って、冬眠すればいいんだよ!!」と可愛い発言。「先生、一緒に穴をほろうよ?」とお誘いを受けました♡

子どもたちの発想力に驚かされる毎日です!子どもたちの気づきや発見と一緒に楽しみながら、色々なことに興味を持ち、保育園生活を豊かなものにしていきたいと思ひています。

☆ 節分って、なに? ☆

節分についての紙芝居をみんなで見ました!心の中の色々な鬼をやっつけることが、豆まきの由来であることがわかり、♪まめまき♪鬼のパンツ♪の歌を自然に口ずさむようになりました。

子どもたち一人一人が色を塗った鬼を窓に飾りました。新聞紙をちぎって豆の形に丸めると、「本当のおまめ、作ったよ!」と小さな形にしている子もいましたよ。豆入れの袋は、自分達で絵を描きました!♪どんな色が好き♪の歌を思い出して、きれいな色で塗るよ!と張り切っている子もいました。

「鬼はそと!福はうち!!」の掛け声に合わせて、みんなで心の鬼を退治しました。心の中に「福の神」がやってきて、みんなニコニコ笑顔になりました😊

☆ 手をきれいに洗おう ☆

先日加藤看護師による手洗い指導がありました。職員が手をきれいに洗える人と手を上手に洗えない人役に扮し、手のバイキンが見える魔法をかけるというストーリーで話をしました。でんぷんが手に付いていると、洗うと色が付くという習性を利用した話仕立てだったのですが、その差にびっくりしていたさくらさんです!「なんで手を洗うのが、大事なのかな?」ということもみんなで考えました!寒さが厳しくなり、手を洗うのが大変な日もありますが、手洗い・うがいを頑張って、元気に過ごしていきたいと思ひます☆



☆ 箸の持ち方 ☆

進級を前に、お箸の練習をしてみませんか?

- ① 上の箸は中央より少し上、親指の腹と人差し指の腹で持つ。
- ② 中指の横に乗せる。
- ③ 下の箸は薬指の横に乗せる。
- ④ 上の箸だけ動かす。

箸、1本だけを鉛筆もちで上下に動かす練習をすると上手になっていきますよ。少し難しい面もありますが、一人一人のペースでぜひご家庭でも一緒にやってみてください。